

平成25年度 福島県立双葉高等学校 学校経営・運営ビジョン

本校は、知・徳・体のバランスのとれた人間形成を教育目標に掲げております。潜在的可能性を十分に持った集合体の中で、自己を磨き自己の個性を極める生徒を育てるとともに、生徒の未来志向の考えを尊重します。知に向かう仲間同志が切磋琢磨することで、学びの質を高めることができます。質実剛健の気風を受け継ぎ、みずみずしい感性と他者への思いやり、加えて忍耐力を養い仲間との絆を深めるよう支援します。

いわき明星大学内に校舎を構え2年目を迎えます。少人数教育の推進、大学との連携をさらに深め、生徒一人一人の能力を十分に伸長させ、それぞれの夢や希望が実現できるよう教職員が丸となって教育活動に邁進します。創立90周年を迎え、生徒主体の記念式典、記念行事を行い、本校の現在の姿を発信します。学校、家庭、支援をいただく地域が一体となって教育基盤の充実を推進し、ふるさと双葉郡、福島県の復興、復旧はもとより、国内外の様々な分野で活躍、貢献できる人材を育成します。

学校事故のない安全・安心な学校づくりを推進し、教職員一人一人が使命感と自信を持ち、高い倫理観と自律心を堅持しながら、教育活動に取り組みます。

(校長 刈屋 俊樹)

校訓 質実剛健 終始一貫

重点実践目標 (PLAN)

1 礼儀を重んじた自律的な生活態度の育成 2 学力の向上と進路指導の充実 3 豊かな人間性の育成 4 開かれた学校づくりの推進

具体的目標の時系列計画・周知と実践 (DO)

教務部	生徒指導部	進路指導部	保健部	図書部	1学年	2学年	3学年
①新学習指導要領を踏まえた教育内容の工夫と教育課程の研究改善に努める	①高校生としてのマナーとエチケットを身につけさせる(特別指導ゼロ)	①生徒の進路目標決定のため積極的な支援を行う	①生徒の心の健康の充実に努める(日常の健康観察及びカウンセリングによる心のケアの実施)	①サテライト協力校図書館の利用促進を図る	①基本的な生活習慣を確立させる(携帯電話使用マナー等の徹底)	①中堅学年として品位のある双高生を目指す	①最高学年としての自覚と責任ある生活態度の確立を図る
②家庭学習の習慣化(週20時間以上)	②「いのち」を大切にする心を育む(「いじめ」のない安全な学校生活)	②生徒の進路希望実現のため、学力の向上を図る	②校舎内外の美化に努める(通常清掃の徹底)	②長期休業中における読書の充実を推進する	②学習習慣の定着を図る(学習と生活の記録を活用し、週20時間以上の家庭学習)	②継続的な学習習慣の定着と学力の向上を図る	②進路実現に向けた学力の向上を図る
③ホームページなどを利用した情報発信を行う		③進路情報を適宜発信し、常時進路意識を高める	③健康診断の適性実施と事後措置の徹底に努める	③家庭における読書の定着化を図る	③早期の目標設定と目標達成に向けての対策と実践(年3回以上の面談実施と進路学習の充実)	③生徒一人一人の進路目標の早期決定を図る	③豊かな人間性の育成を図る

計画の定期的な確認 (CHECK)

評価 自己評価 → 年度末(2月)

改善・向上 (ACTION)

反省	成果と課題を分析 改善項目の究明	→	改善	教育活動の改善 資質能力の向上	→	開かれた 学 校	説明責任
----	---------------------	---	----	--------------------	---	-------------	------